

第6学年 道徳学習指導案

平成27年10月9日(金) 第5校時

1 主題名 礼儀を大切に【内容項目 2-(1)】

資料名 ちょっとひどくない? (出典: 彩の国の道徳「夢にむかって」 埼玉県教育委員会)

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、第5学年及び第6学年の内容項目2-(1)「時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。」ことをねらいとしている。これは、低学年の「気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する。」、中学年で「礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。」を受け、高学年の「時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。」に発展する。高学年では、礼儀の意義について理解できていても、恥ずかしさなどもあり、適切な行動ができない場合がある。また、仲がよい友達に対して度が過ぎたからかいをし、トラブルになるケースも増えてくる。そこで、友達との接し方を考える中で、親しい中にも礼儀があることを感じ取らせ、相手の立場に立って、心のこもった接し方ができるようにさせたい。

(2) 児童の実態

児童は、相手が傷つく言葉があるということを、頭では十分理解している。しかし、生活の中では、遊び感覚や、他の人が言っているからと軽く使ってしまうこともある。

そこで、本学級の児童の実態を把握するために、次のような調査を行った。

アンケート (9/11実施)

- ① 言われて嫌だった言葉を書きだしてください。(複数回答)
- | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|---------|-----|
| 死ね | 46% | ばか | 46% | うざい | 25% | キモい | 21% | あほ | 14% |
| 来ないで | 14% | 消えろ | 11% | 最低 | 11% | けがれる | 11% | 聞こえませーん | 7% |
| 以下3% | | ごみ | | は? | | クズ | | ぶりっこ | |
| | | | | 最悪 | | など | | | |
- ② ①のような言葉を言われたことがありますか。
- | | | | |
|----|-----|----|-----|
| ある | 68% | ない | 32% |
|----|-----|----|-----|
- ③ ①のような言葉を言ったことはありますか。
- | | | | |
|----|-----|----|-----|
| ある | 54% | ない | 46% |
|----|-----|----|-----|
- ④ ③で「ある」と答えた人は、どのような理由で言っていましたか。(複数回答可)
- | | | | |
|-----------------|-----|---------|-----|
| 相手にも同じ言葉を言われたから | 36% | 腹が立ったから | 25% |
| ふざけて | 18% | | |
- ⑤ ③で「ない」と答えた人は、なぜ言わないのですか。
- | | | | |
|--------------------|-----|---------------|-----|
| ・自分が言われたくない言葉は言わない | 69% | ・言われた人が傷つくから | 15% |
| ・けんかになるから | 8% | ・悪口を言う必要がないから | 8% |

一つ目は、これまでの経験の中で傷つく言葉を言われ、嫌な気持ちになったことのある児童が多いということである。本時では、そのときの気持ちを思い起こさせ、傷つく言葉を言われた側の心を理解することにつなげたいと考える。

二つ目は、問③～⑤の結果から、人を傷つける言葉を理解しているものの、感情的になってしまった時やふざけている時に言ってしまうことが分かる。また人が傷つくような言葉を言ったことがないと答えた児童が学級の約半数いたが、普段の様子を見ていると、感情的になりやすい児童がこの中に多く含まれている。このことから、相手が傷つく言葉を使っている自覚がないのではないかと考えられる。

(3) 資料について

主人公は、休み時間に仲のよい友達と学校の課題に対して、「うざい」という言葉を使って会話をしていた。「うざい」という言葉を使ったことで、友達とさらに仲よくなったと感じた。その後、他の仲のよい友達に席に着くよう注意されたが、それに対しても「うざい」という言葉を使って返した。ある日、主人公はかわいいと言ってもらえると期待して新しい筆箱を学校に持っていったが、友達から「色もキャラクターもうざいよね。」と言われた。そこで、「うざい」という言葉が、人を傷つける言葉だと気付きながらも、自分も同調して「これうざいでしょう。」と笑いながら言ってしまう。「うざい」という言葉の重みに気付き、言っている友達と言われている友達を見つめていた。

「うざい」という言葉を通し、友達と仲よくなりたい、仲間はずれにされたくないという主人公の気持ちと、人を傷つける言葉、仲がよくても言っただけいけない言葉があると気付く主人公の気持ちの葛藤をおさえ、親しき仲にも礼儀があり、普段何気なく使っている言葉も、気を付けないと人を傷つけてしまうということに気付かせたい。

3 研究テーマとの関わり

本校の研究主題

『豊かなかかわりを通して、
よりよい自分、よりよい生き方を求める児童の育成』

高学年のテーマ

「話し合い活動を深め、自己を見つめ直し、よりよく生きようとする意欲を高めることができる
道徳の時間」

【視点1】児童の実態を生かした授業の工夫

- ・アンケートをとり、めあてにせまるための意識を高める。
- ・アンケート結果から児童の実態を把握し、意図的指名によって学級の実態に即した授業を展開する。
- ・アンケートや振り返りカードへの記入を通して、児童一人一人の変容を確認する。

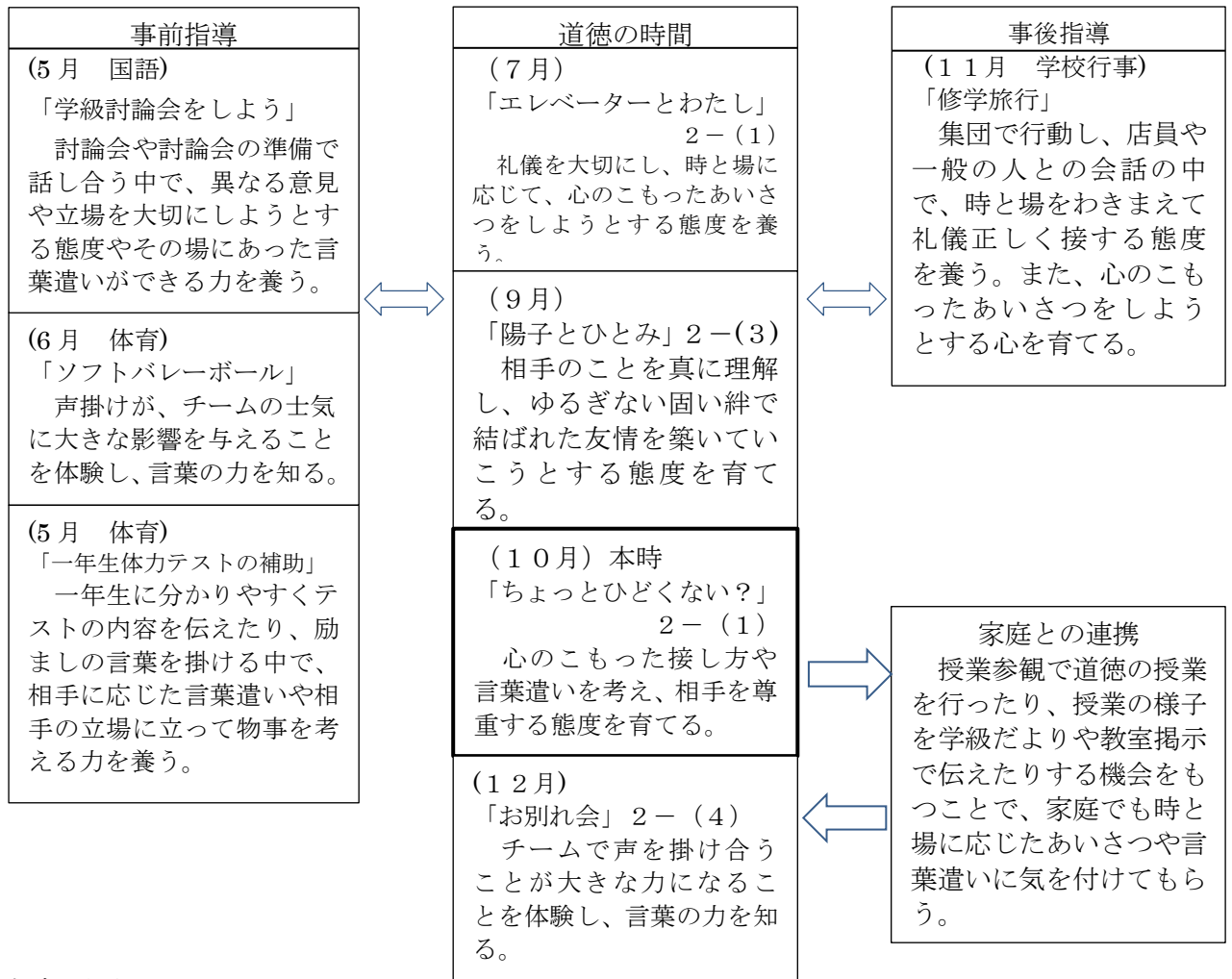
【視点2】話し合い活動を深めるための工夫

- ・少人数での話し合い活動を取り入れ、一人一人が話し合いに参加することで、全体の話し合い活動を深める。
- ・主人公に共感できるよう、場面絵や短冊を活用する。

【視点3】自己を振り返り、みつめるための工夫

- ・主人公の気持ちの変化を色で表したり、気持ちの変化を比較しやすい板書の構成にしたりすることで、「みつめる」時間に振り返りやすくする。

4 他の教育活動との関わり



5 本時のねらい

心のこもった接し方や言葉遣いを考え、相手を尊重する態度を育てる。

6 学習指導過程

段階	○学習活動 ・主な発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点☆評価	時間
導入	○言葉に関するアンケート調査の結果を見て、話し合う。	言われて嫌な言葉 ・キモい ・カス ・うざい ・ボケ ・バカ ・クズ ・あほ ・死ね	・アンケートの結果から嫌な思いをさせる言葉がたくさんあることを再確認させ、本時の課題に対する意欲をもたせる。 ☆児童一人一人が課題意識をもつことができたか。	2分

展 開	と ら え る	<p>○資料について知る。</p> <p>条件・状況 主人公…私 相方…節子、美代子、志保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも私と美代子、志保の3人でおしゃべりしている。 ・私と美代子、志保、節子は小さいころからの仲よし。 ・節子は代表委員である。 ・次の時間の学習は、感想文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・条件・状況を理解しやすいよう場面絵や短冊を活用する。 ・主人公の気持ちの変化に着目させながら、話題を児童と共に整理し、話合いの方向性を確認する。 <p>☆資料に興味をもち、主人公は、どんな気持ちか考えてみたいという意欲がもてたか。(発言・観察)</p>	8分
	ふ か め る	<p>○課題について話し合う。</p> <p>1 休み時間に3人で話しているとき、私はどんな気持ちだったろう。</p> <p>2 新しいペンケースを「うざい」と言われたとき、私はどんな気持ちだったろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何で一緒になって笑っていたのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなも同じことを考えていたんだ。うれしい。 ・安心した。 ・みんなと同じ言葉を使って、もっと仲よくなれた気がする。 ・通じ合ってる気がする。 ・かわいって言ってもらえると思っていたのに。 ・うざって言われて、ショックだった。 ・うざって気軽に言っただけど、言われるとけっこう傷つくな。 ・無理して笑っている。 ・本当の気持ちを出したら、めんどくさいやつって思われちゃう。 ・今は、空気を読んで笑わなきゃ。 ・今、一人で落ち込んでたらずかしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「うざい」という言葉を通して、仲が深まったと思っている主人公の気持ちに共感させる。 ・今まで安易に汚い言葉を使って友達と同調し合う楽しさを感じていたが、「うざい」と言われたことによって、言葉について考え出した主人公の気持ちの変化を捉えさせる。 ・自分が発する言葉と心のギャップに苦しむ私の気持ちをおさえる。 <p>☆「うざい」という言葉が、人を傷つけてしま</p>

展 開	ふ か め る	3 三人を見ながら、私はどんな 事を考えていたのだろう。 ・この後私はどうするだろう。	・わたし今までこんなひど いこと言っていたんだ。 ・友達でも言って良いこと と悪いことがあるんだ な。 ・節子に直接謝ろう。 ・美代子や志保にも、うざ いとかこれから言わない ように話してみよう。	うことに気付くこと ができたか。(発言・ 観察) ・少人数での話し合いを取 り入れる。 ☆相手を尊重する気持 ちをもち、適切な言動 について考えること ができたか。(発言・ 観察)	
	み つ め る	○自己を見つめる	・今までの自分について振 り返りながら今日の学習 を通して考えたこと、学 んだことを書く。	☆親しい間柄でも、礼儀 をわきまえた言葉遣 いで、接していこうと 考えることができた か。(発言・振り返り カード)	5分
終 末	あ た た め る	○校長先生の話聞く。		☆これからどんな心構 えで友達と接してい けば良いかを考える ことができたか。(観 察)	3分

7 評価の観点

○児童側の観点

- ・主人公の気持ちに共感して、自分なりの考えをもつことができたか。(発言・観察)
- ・親しい間柄でも、礼儀をわきまえた言葉遣いで、接していこうと考えることができたか。(発言・振り返りカード)

○教師側の観点

- ・児童が主人公の気持ちに共感できるような授業の展開ができたか。(発言・観察)
- ・児童の考えを深めることができるような発問、補助発問、板書ができたか。(発問・観察)
- ・授業を通して、児童がどんな気付きを得られたか、適切に評価することができたか。(振り返りカード)

8 備考

(1)板書計画

ちよつとひどくない？

三人でいつもおしゃべり

四人は小さいころからの仲良し

次の時間は、感想文を書く

私

節子

代表委員

志保

美代子

うざい

同じ言葉

↓ もっと仲良くなった

みんなも同じ気持ち

うれしい

同じ言葉

使ってみた

同じ言葉を

持っていくのが楽しみ

私も二人に合わせて大笑い

ちよつとひどくない？

無理して笑っている。

本当の気持ちを出したら、めんどくさいやつって思われちゃう。

空気を読んで笑わなきゃ。

授業に集中できなかった。

三人を見ながら

今までひどいことしちやったな。

節子に直接謝ろう。

美代子や志保にも、うざいとかこれから言わないように話してみよう。

友達でも言ってる良いことと悪いことがある

(2)資料分析

- スタートの条件・状況 主人公…私 相方…節子、美代子、志保
- ・いつも私と美代子、志保の3人でおしゃべりしている。
 - ・私と美代子、志保、節子は小さいころからの仲良し。
 - ・節子は代表委員である。
 - ・次の時間の学習は、感想文を書く。

《話題につなげたい場面》

《動き、気持ちの変化、関わり合い、キーワード等》

